



ニュースを教育・研究の視点から発信する OTEMON VIEW

『下町ロケット』が描いた知的財産戦略 「攻めと守り」「研究と社会実装」の間

追手門学院が OTEMON VIEW を開設

学校法人追手門学院(大阪市中央区、理事長：川原俊明)は大学公式 HP に特設サイト「OTEMON VIEW」を開設しています。

<https://newsmedia.otemon.ac.jp/>

OTEMON VIEW とは

「ニュースの面白さは、見方次第。」をコンセプトに、日々移り変わる世の中の出来事を、追手門学院大学の教員らが教育・研究成果など専門的知見に基づいて読み解きます。

人気の記事 よく読まれている記事！ /

- 2021.03.05 **社会と暮らし**

「半沢直樹」になれない現代人へ。「感情資本」は社会を生き抜くヒント。感情のコントロールとは。

18892Views

OTEMON VIEW編集部
- 2021.09.02 **地域・観光**

死海文書とは何か。日本語訳プロジェクトに携わる研究者が明かす、その全貌

17836Views

OTEMON VIEW編集部
- 2020.08.03 **こころから**

「シン・エヴァンゲリオン劇場版」公開へ。精神科医研究者が考察！エヴァは悩める若者の象徴か！?

12131Views

OTEMON VIEW編集部
- 2021.04.02 **社会と暮らし**

「大学広報」がNHKドラマ化。「ほぼ神崎真」が見た「大学広報」とは。

12019Views

OTEMON VIEW編集部

OTEMON VIEW 人気記事ランキング

ニュースを教育・研究の視点から

テレビドラマ化もされた池井戸潤氏の人気小説『下町ロケット』。主人公が率いる製作所の存続を揺るがしたのは「知的財産（知財）」に関する特許侵害訴訟でした。

近年、大学でも「知財」に関する取り組み強化が求められています。産学連携の観点から魅力的な特許とは何か。大学と社会の間に広がる知財の課題について、田中康宣知財アドバイザーが解説します。

(以下は主なポイント)

知的財産アドバイザーとは

- 研究成果から知的財産権取得をサポート
- 学内における知財戦略の浸透を担う
- 企業と研究者の橋渡しとしての役割
- 法令や特許、製品化を見据えた課題の解決も担う

『下町ロケット』にみる知的財産権を巡る攻防

- 続出する企業同士の知財訴訟
- 知財専門の弁護士との出会い
- マーケティングなど多角的な知財戦略

学術研究と知的財産の現状

- 研究業績としての特許出願数の評価と取得推進
- 研究者と特許権の関係
- 課題は産学連携の観点を持つアドバイザー
- 文系大学における新たな知財戦略

記事本体: <https://newsmedia.otemon.ac.jp/2343>



2021年より着任した田中康宣 知的財産アドバイザー

この資料の配付先：大阪科学・大学記者クラブ、北摂記者クラブ等

【発行元】

追手門学院 広報課 TEL: 072-641-9590 谷ノ内・仲西